

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和元年10月24日(木) 午後7時～午後8時30分
会	場	生涯学習センター今立分館
出席議員		前田 一博、大久保 恵子、題佛 臣一、大久保 健一、小玉 俊一、桶谷 耕一、中西 昭雄
参加者(市民)		31名
開会挨拶・司会・記録		挨拶:大久保 健一 司会:大久保 健一 記録:小玉 俊一、大久保 恵子、前田 一博
【1部】 6月、9月定例会の概要 報告、 (報告者) 桶谷 耕一		なし。
【2部】 市政課題に対する 意見交換会 (1班) 進行:中西 昭雄 記録:小玉 俊一 (2班) 進行:桶谷 耕一 記録:大久保 恵子 (3班) 進行:題佛 臣一 記録:前田 一博		<p>今回、(サンドームなどの文化施設の近い)瓜生団地の断念により、これからはどこでも工業地域を考えようという事で、市の方は考えている。具体的な会社の名前は出ていない。</p> <p>Q:工業地域は、都市計画としては決まっているのだから、文化施設との兼ね合いもあるだろうし、場所を अच्छやりこっちやりではおかしくなるのでは。</p> <p>A:都市計画は、一応工業地域の計画はあるので、文化施設についてもバランスよく開発する。また、文化施設は、イベント誘致をするのに、駐車場等を考えなければならぬ。瓜生団地は、準工業団地という事で、期間の関係もあり、瓜生団地を選定した。</p> <p>Q:今立総合支所の跡地は、地域のコミュニティーとして位置付けるとなっていたが、金融機関がくるという事になった。福井銀行としては、誰でも入れて開かれた施設とする。それで、福井銀行は、コミュニティーの場となるのか。</p> <p>Q:また、駐車場と避難場所という話もあったし、道の駅という話もあったが、そのことは、どうなったのか説明されていない。</p> <p>A:道の駅というのは案であって、その話はなくなった。市民には不満もあるのでは。</p> <p>Q:案はあって、上の方で決定したというが、議会も賛成したのでは。</p> <p>A:その件に関する予算案で多数決をもって決定した。</p>

あいぱーく今立周辺整備事業として、A地とB地は民間活用とし、多目的広場と駐車場と避難場所で活用する。

Q: 青少年の雇用先、若い人を町に呼び込むには。

A: 働き口と住家を考えている。子育てがしやすいとか、高齢者、教育の充実など人が住みやすい地域。今までは、企業の誘致を考えていたけれど、子育てなどの環境も整えたり、住む家の環境を整える。住みやすい越前市、若者に選んでいただける町、保育園・幼稚園・こども園の充実、相談窓口を充実。

Q: 高齢者が元気で健康寿命を保てるような政策はあるか。

A: 市では現在、210箇所で行きいきふれあいサロンを開催中。町内単位で介護予防を行っている。市からサロンの運営費を支給し、サロンを行っているのでそれなどを活用していただきたい。

Q: コミュニティバスなどを使って、施設をもっと利用できないのか。生きがいを持てるような取り組みや活動を提供してほしい。

A: つどいなども若い人がリードし、計画してもらえるようなのではなく、高齢者も自分のできる範囲で企画や活動を行うとよい。

Q: 台風災害に遭った場合や災害への取り組みを具体的に。方向性をお伺いしたい。

A: ハザードマップ、水害、防災、地震、土砂くずれなどのハザードマップがあるので、周知を徹底する。災害や水害があったときは、タイムラグ後どこに家族が、集まるかという事などを話し合っておく。自分のことは自分で守られるような仕組みづくりの対策をとる。

Q: 自治振興会とは、地域集落の自治を円滑に進めていく組織でもあるが、市から降りてくる課題も多いので、負担もあり、集落の自治会をしっかりと運営しづらい。何か良い方向は。

A: 地域の課題は、地域がよくわかるという観点から、自治振興会というのが発足してきた。独自に活動するよりも市からの活動が多いというのが負担。例えば、特別事業というのがあり、地域で特別な事業に対して補助金がおろる。例として、村国山にクマが出たそれは、山が荒れてきたので、区長さんが、区民の皆さんとチェンソーの使い方を学び、山を整備した。これは補助金を使って区の事業を行った事例である。本来このようなことが、集落の自治会活動だと思われる。

Q:シニアクラブの運営費は。

A:月1回開催で1年間6万円の助成もある。

サロンは、世話する人も高齢化しているためどうするか。参加する人も負担する。

Q:インバウンド事業とは。

A:越前市に外国人を観光客と呼ぼうという事業。国と越前市の半分半分の事業で、2ヶ年計画で3億円かけている。宿泊や案内板など、計画を作成中。JTBなど計画のプロの方々と相談、伝統産業や市内の寺社仏閣のアピール等をしっかり行う。

Q:国内の人も来ないのに、インバウンドとは難しいのでは。

A:まず、越前市だけではなく、丹南地区2市3町の地場産業、観光地などをうまく協働し、推し進めていく。(仮称)南越駅は、新幹線といっても各駅止まりの新幹線しか停車をしないし、従来の特急サンダーバードやしらさぎなどがなくなるという問題。また、大阪などに出かけるのが不便になる点も考慮していかななくてはならない。

Q:(仮称)南越駅周辺の開発状況は。

A:中長期的(新幹線が大阪まで開通)に考えている。今のところは、「丸松」が道の駅の管理業者として決まっている。南側にハイテク産業団地も計画。

Q:家庭菜園を行っているが、イノシシなどで作物がやられる 鳥獣の対策は。

A:電気柵やワイヤーメッシュで山のふもとを囲んでいる。檻の仕掛けも設置地元から区長さんを通じ、設置のお願いを市に要望する。

※農業は、生活の糧だし、サルやイノシシは、これからどんどんと数が増えていくので、さらなる対策をお願いしたい。

Q:新幹線の駅と武生駅のアクセス道路の整備はどのようになっているのか。

A:村国山にトンネルを掘って貫通させるのは難しいので、村国山の南側の道を整備していくという案がある。

Q:道の駅の営業時期についてお聞きしたい。

A:新幹線は大体2023年に開通予定で、それに合わせて、管理業者「丸松」も活動される予定。人が来ないというのではいけないので、もっと工夫が必要かな。

Q:村国山のパラグライダーは市が容認しているのか。

A:パラグライダー協会がやっている。市も観光の一環でも思われたのか。やっ
てはいけないと言ったのか。容認したのかはわからない。

Q:瓜生工業団地の建設が中止になったのはなぜ。

A:40 ほどの地権者のうち、何者がどうしても売買しないという事と売買価格が折り合
わないという理由もあった。議員が産業建設委員会で、サンドームの周辺は、文化
施設もあり将来、丹南地区の中心地域にもなりますよ。そんなところに、工場を8号
線の近くに建設しなくてもよいのではと進言した。

Q:外国人労働者が増えて、家族で来られていて、そのお子さんも増えて来ている。
自分の息子は教員をしているのだが、外国人の子供が日本の教育についていか
れない状況に、市としてはどのような対策を講じているのか。

A:市として予算をかけて教育しているが、これは会社の方にも負担をお願いしたい
事柄でもある。西小学校や大虫小学校もだいぶ外国のお子さんが増えてきてい
る。ソーシャルワーカーや多言語通訳者などを活用したりしてますが、追いつかな
い。行政にも限界があり、企業の方にも問題がある。

Q:新庁舎の建設費は、膨らんでいないか。

A:段々当初の予算より大きくなった。しかし、今までの庁舎と違って対面式になり、議
もわかりやすく傍聴でき、市民の方にとってよりよい庁舎に建設されている。

Q:武生の駅前については、さみしい。その辺の対策は。

A:駅周辺はコンビニも午後8時くらいで閉店だし、暗いという話は、よくお聞きする。
何かよい方向へと対策を検討中。

Q:自主防災組織の補助金が、平成19年・20年・21年にあったが、それ以降形骸化
しているのではないか。いざというときに防災委員は必要。防災委員と区の役員と
どちらも担っているのか。行政の行うことは組織がたくさんあり、家族中が役員にな
ってしまっている。防災委員の任期は何年か。

A:5年間の任期

⇒この5年間を大事にしていきたい、経験があつて、行動力がある人を選んでい
る防災委員は、防災委員会に登録をして、1年々研修を受けてきちんと組織化され
れば、救助がおくれたり、情報がおくれたりはないと思うが。

Q:利便性の悪い所が、利便性の良い所と同じ評価では、話が合わない。

A: 藤木は、水間谷の室谷に接しているところも銭ヶ花、服部川の向こう側も藤木で、池田へ行く道が基本だが、田舎は面で評価していく。

Q: 結局、これから少子化になり、家が絶えてしまうと、家を壊さなければならないし、くずれたり、壊れる前に壊せとといわれ、壊すと、固定資産税が上がる。しかしやっぱり残しておく危険だから壊せとなる。なけなしのお金で、年金などを回してこわすようになる。そんな場合少しでも安くしていただいた方がよいのでは。

A: 更地にしても高くしない(3~4年)というのものもあるが、その後はどうなるのかという問題がある。

Q: 学校や農業改善センターと小屋の評価額が、一緒ではどんなものか。評価額はどうかやって決めるか。

A: 評価委員会が妥当かどうかで審査をしている。路線価格で決まるので、7m幅の道路の近くであればという事になる。また、現実売買においては、相当の開きが、生じている。

Q: 防災について、年々自然災害が増えてきている。災害において、特に川の氾濫、山くずれなどの防災対策は。

A: 年々自然災害が増えてきている。災害において、特に川の氾濫、山くずれなどの被害の発生、山肌などに集落があり危険。そういう場所を再度チェックして早期避難の呼びかけ、山肌が見えるところが目視できるよう、電気柵のあたりの下草を刈ったり、もう少し上の方も刈ったり、高い木の枝を枝打ちして、できるだけ、山肌が見えるようにして、石ころがころがったりするのが見えたりして、危険を察知し避難準備を行ったりできるようにするよう力を入れている。

Q: 来年から 1 人あたり 1,000 円の森林環境税があるが、人口に対してなので、地域差があるのでは。

A: 越前市は森林準備税が 600 万円で森林目的税が 2 千万になる予定で、利用するのは、保全と利活用の 2 種類。執行者の受け皿は森林組合。森林組合が執行する場合は団地化にし、個人の山を全部一括し整備するという形にすれば、管理をすることができる。

Q: 個人が土砂災害から守るために、2 本の木の伐採をやっても補助金は出ないのだが。

A: 10mの下草を刈るときは、補助金申請をした者に対しては市の事業として補助金が出る。イノシシの関係もあるし防災も関係がある。林業者が燃やす木は燃やす許可がでている。農業者が農業をする稲わらは、農業者が燃やすのは認められている。ただし消防署の許可をとる。市の管轄は、農林整備課。

Q:新幹線駅に通じる道を建設しているが、それにつき新幹線の工事が遅れる事はな
いか。

A:工事は遅れることはない。

Q:いつ頃できるのか。

A:3年半後開通予定で、その1年前に試験運転が行われる。

Q:民生委員の5万9千円手当が民生委員の個人口座に振り込まれていなかった件
を県の社会福祉課に連絡し事情を聴くと、9の自治体は個人口座に入っているが、
入金されていないのは、福井市、鯖江市、越前市となっていた。このような事を見逃
さないでほしい。

A:国の機関からだが、県も市もしっかり指導に入る。

Q:自治振興会は、市役所の職員に使われているという感触がある。自治振興会は住
民の小間使いではあるが、市役所の小間使いではないと思うが。

A:地域の事は実際、自治会の方が、よくご存じなので、民生委員を決定する時など
は、われわれ行政よりも地域の方のほうが、その住民の方の事情を把握されている
場合が多いのでお願いしたりする。市の職員もお互い力を出し合って自治会運営
の協力をお願いする。

Q:台風19号などのような災害の防災に強い街づくりをお願いしたい。特に、水害ハ
ザードマップを見ると、水害に遭うような危険な場所とわかってる所が避難場所にな
ってたり、役所が機能しないようになったりしないようなまちづくりをお願いしたい。

A:ハザードマップの見直しや個人が自分自身や周りの人を守るための知識を身に付
ける防災士の資格を得るシステムも活用して身を守る方法も活用。

【意見・要望】

・子育てや福祉に関する書類をそれぞれの部署に申請書類の提出を複数しなければ
ならないので、何とか書類の一元化はできないか。

・住民に対する市の説明会やコミュニケーション不足があるのでは。

・水害について、河川の氾濫をふさいでほしい。

・固定資産税評価額の宅地の評価をどのようにされているのか。固定資産税評価審
査とは、何の評価を審査しているのか。おそらく、電話帳の何丁目何番地を見て、評

	<p>価をし、その周りの環境・条件は、見ていないと思うが、どう審査しているのか。形ばかりの審査ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の議員と語る会の広報チラシは自治振興会の会長のみだったが、この広報チラシは全区長に配布してほしい。・民生委員は国の事業でそれを市に依頼し、市は住民の事情をよく分かっておられる自治振興会に依頼をするという形をとっているのが大部分。民生委員の仕事が多い、高齢者社会が増えてきたので、見守り等も多い。・栗田部地区の、ある地域では、65歳以上が45%、一人暮らしが15名(100軒中)この相当な数が民生委員の肩にかかっているのではないのか。また民生委員のなり手が少ないというのは、あまりにも民生委員の仕事が多いので、地区が行う事柄、行政が行う事柄、民生委員が行う事柄の仕事を分ける事が重要。民生委員は月に2~3回見守りをし、市に報告書を提出している。
--	--

令和2年1月16日

越前市議会議長 殿

第1班 班長 大久保 健一